

会 議 録

会議名	平成30年度 第2回豊田市入札監視委員会		
日 時	平成30年11月14日(水) 午後3時30分～午後5時		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 52会議室		
出席者	委員長 曾我部 博之	上下水道局	副局長 杉本 尚久
	委 員 河野 伊知郎	契約課	課 長 能見 秀行
	丹羽 忠彦		副課長 永田 浩晃
	岡田 千絵		担当長 岸上 和美
			担当長 村井 幸介
			担当長 中條 圭祐
		上下水道局総務課	課 長 水谷 隆治
			副課長 石川 直美
		担当長 成瀬 孝紀	

1 上下水道局副局長あいさつ

2 報告事項

(1) 平成30年度上半期の契約状況

◇市長部局

質 問	回 答
パソコン機器等の賃貸借を契約したタイミングは定期的なものなのか。	コンピュータ機器は原則5年を耐用年数として更新している。
物品購入で指名競争入札の案件が1件あり、落札率58.2%と低い率であるが、理由は何か。	本案件は、広報紙の印刷案件である。低い落札率になったのは、仕様を大幅に変更(月2回→月1回)したことが影響し、積算で見込んだ減額率以上に低い金額で落札されたものと推測している。
建設工事における共同企業体で参加する案件は、市内本店業者のみの共同企業体なのか。	土木一式工事については、市内本店業者での共同企業体を原則としている。建築一式工事等で特殊な技術や実績を求める案件の場合、市外業者と市内業者の共同企業体となる。
建設工事で指名競争入札を行う場合の基準は何か。	基本、建設工事については一般競争入札で実施しており、指名競争にする基準等はない。ただし、一般競争入札にすることが望ましくない案件については、指名競争入札を選択する場合もある。
建設工事の不調不成立について、過去に比べ、増えているのか。	平成25年度をピークとして減少傾向にあったが、平成29年度からは増加傾向にある。消費税増税前の民間の需要の増加と技術者不足が原因であると思われる。

◇上下水道局

質 問	回 答
工事における随意契約の理由として、経費が削減できるという理由があるのか。	競争に付するより効率的かつ安価に実施できる場合は、随意契約を選択する場合もある。
随意契約の中で、見積競争を実施している案件もあるが、随意契約で競争を行うものなのか。	随意契約は、一者特命随意契約と複数者の見積競争による随意契約があり、今回は複数者の見積競争による随意契約を実施したものである。
随意契約をしている案件は、今後も継続して随意契約を行うのか。	特殊な業務は、その業者しか実施できないことが多く、継続して随意契約とする場合が多い。

(2) 入札参加停止等の状況

特になし

3 審議事項

(1) 平成30年9月議会案件

特になし

(2) 委員選定案件等

質 問	回 答
最低制限価格はどのように設定しているのか。また、なぜそのような価格を設定しているか。	国の基準に応じた価格の計算方法を採用している。品質や労務者単価の確保のため、ダンピング対策として最低制限価格を設定し、下回った者は失格としている。
案件の特殊性と落札率が高くなることとの関連性はあるのか。	案件ごとに状況が異なるため、関連性を説明するのは難しい。しかしながら、特殊な技術を要する案件や施工条件が厳しい案件では、企業努力や創意工夫が及ばず、経費を低く見積れないため、予定価格に近い入札額になりやすく、結果として落札率が高くなる傾向はある。
工事監理委託は基本的に設計した業者と随意契約することになるのか。	工事監理委託を必要とする案件は、一般的な工事より難易度が高く特殊な工事であり、多くの場合、設計者でなければ適切に監理することができない。結果として、ほとんどの案件が随意契約となる。

4 その他

(1) 第3、4回委員会の開催予定について

第3回開催予定は2月上旬、第4回を3月中旬に予定。